

高等学校国語「現代の国語」学習指導案

令和 5 年〇月〇日第〇時限
埼玉県立春日部東高等学校
第 1 学 年 〇 組 4 0 名
授 業 者：菅 原 俊

1 単元名 書いて伝える 社会に対する意見文を書く（第一学習社『高等学校 現代の国語』）

2 単元について

（1）生徒観

落ち着いた雰囲気の中で、授業に集中して取り組むことのできる生徒が多い。一方で、自分の考えを発表したり、仲間と話し合ったりすることについては、あまり得意でないと感じている生徒も見受けられる。本授業ではグループワークを実施するため、自身の考えを積極的に表現する機会としたい。

（2）教材観

本単元は高等学校学習指導要領国語の「B 書くこと」の言語活動例「論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動」を通じて（1）「イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。」及び「エ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。」を踏まえて設定した。

前単元で学習した評論文「フェアな競争」の内容を踏まえたテーマで「意見文」を記述することで、筆者の意見と対比させながら、自身の考えを述べることができる。筆者の主張内容を踏まえて、自身の意見を書く経験は、生徒が主体的に読む姿勢を身に付けるうえでも有用であると考えられる。

（3）本単元で工夫する点や手立て

グループワークで相互に文章を採点し評価を行う場面では、各自が採点基準と照らし合わせながら、客観的に採点を行えるよう指導していきたい。また、相互評価を踏まえた文章のリライトを行えるよう意識づけしていくことが必要となる。

3 単元の目標

- （1） 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。〔知識及び技能〕（2）ア
- （2） 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B（1）イ
目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B（1）エ
- （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

4 本単元における言語活動

前単元で学習した評論文に関連するテーマについて意見文を記述する。その後共通の採点基準に沿って相互に意見文を添削、採点し、その内容を踏まえてリライトする。

（関連：論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する活動。B（2）ア）

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。（2）ア	①書くことにおいて、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。B （1）イ ②書くことにおいて目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。B（1）エ	①主張と論拠など情報と情報との関係について進んで理解しようとしている。 ②読み手の理解が得られるよう、意見文の構成や展開を工夫しようとしている。 ③学習課題に沿って、自分の文章の特長や課題を捉え、粘り強く書き直そうとしている。

6 単元の指導と評価の計画（全3時間）

時	学習活動	評価規準・評価方法
1	・プリントと作文例を参考に意見文を構成する要素と展開の方法について理解する。（一斉） ・構成メモを作成する。（個人） ・意見文を書く。（個人）	〔知識・技能〕（2）ア 構成メモの点検 構成メモに自分の意見と論拠を挙げられているか点検する。
2 （本時）	・それぞれが書いた意見文を、採点表に基づきグループ内で相互採点する。（GW） ・生徒の意見文の中でよく書けているものを全体に共有し、良い点や改善点等を解説する。（一斉） ・採点した文章に対して気付いたこととアドバイスをコメント欄に記入する。（個人） ○プリントはPDFで配信し、タブレット上の授業支援アプリ「MetaMojiClassRoom」で意見文の記述、添削・採点のGW、コメントの記入等を行う。	〔思考・判断・表現〕B（1）イ 意見文の点検／意見文の4要素に沿って4段落構成で作文出来ているか点検する。 〔主体的に学習に取り組む態度〕 意見文の点検・GWへの取り組みの観察

3	・ 前時の採点結果や、グループワークを踏まえて、自身の意見文を書き直す。(個人) ・ リライトされた意見文の中で特に優れた文章を全体に共有する。(一斉)	〔思考・判断・表現〕B(1) エ 意見文の点検／採点結果や GW を踏まえて文章を再構成出来ているか点検する。
---	---	---

7 本時の指導と評価の計画 (2 / 3 時間目)

(1) 本時の目標

- (1) 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。[知識及び技能] (2) ア
(2) 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫して意見文を書くことができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1) イ

(2) 本時の展開 (5 5 分授業)

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法等
導入 10分	・ 本時の授業の流れと目標の確認。 ・ 4人1組のグループに分かれる。 ・ 採点方法の説明と採点内容の確認。	基本はタブレット上に配信されているプリントに沿って進めていくが、作業効率の観点から、採点基準と採点の方法については紙ベースでも配布し熟読させる。	
展開 42分	・ 意見文を評価表に沿って採点する。採点のポイントになった箇所をタブレット上で記入する。(24分) ・ 意見文の中でよく書けているものを、名前を伏せて画面とプロジェクター上に映し、良い点や改善点等を授業者が解説する。(12分) ・ 配信されている採点用紙のコメント欄に、それぞれの意見文を読んで気付いたことやアドバイスを記入する。(自分以外の班員分)(6分)	採点箇所の見落としが少なくなるようグループで協議しながら採点させる。 事前に候補となる文章を選んでおき、立場ごとに文例を示せるようにする。生徒の採点の抜けや漏れもチェックする。 採点時に気付いたことや他の生徒文章と比較して感じたことなど、書き直しの際の改善につながる建設的なアドバイスを記入させる。	【思考・判断・表現】 「記述内容の分析」 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「GWでの様子」
まとめ 3分	・ 次時の告知	次時まで各自で書き直し作業を済ませておくよう指示する。	

8 ワークシート (別添)

現代の国語⑧ 「社会に対する意見文を書く」① 意見文とは

一年 組 番 氏名

〈意見文とは〉

・何らかのテーマについて意見を主張する文章

〈身近な意見文〉

・教科書の評論文・新書・新聞の社説・お客様の声（要望）・入試の小論文

〈意見文に必要な主な要素（パーツ）〉

・問題設定・問題提起

★主張（意見） ○○について△△と考える／○○するべきだと考える

★根拠・理由 なぜなら～からだ

・具体例（そう考えるもとなった体験・見聞・知識等） 例えば～

・反対意見への譲歩と反論 もちろん／確かに（予想される反論）だが／しかし（自分の意見）

これらの要素を適切に組み合わせることで論理的で説得力のある文章を書く

要素の配列には様々なパターンがある（一定の型＋試行錯誤）

論理的とは…主張と根拠・理由が適切に繋がる（教P216 ～ P219）（関連性・妥当性・客観性等）

↓他者に受け入れられる主張

〈意見文の型〉

【頭括型】…意見を最初に示す↓端的に意見が述べられる

【尾括型】…意見を最後に示す↓筋道を立ててじっくりと意見が述べられる

【双括型】…意見を最初と最後に示す↓文章が長くなる際や意見を印象付けたいときに用いる

○読み手・字数・テーマに応じて適切に使い分ける

〈意見文の流れの例〉

①主張↓根拠・理由↓具体例↓反対意見への譲歩と反論↓主張（まとめ）

②体験↓主張↓根拠・理由↓反対意見への譲歩と反論

別紙文章例参照

現代の国語⑧ 「社会に対する意見文を書く」② 構成メモを作ろう

まとまった量の文章を書くときには、書き始める前に必要な要素ごとに内容をまとめた「構成メモ」を作りました。

（例題）スーパーなどで「従業員が『研修中』のバッジや腕章を付けて仕事をする事」は必要か。
あなたの考えを四〇〇字程度で書きなさい。（2020 文章力検定2級より）

【構成メモの例①】 ∴ 「必要」の立場の場合

（1）主張

研修中の従業員は、研修中であることが分かるようにバッジや腕章を付けて仕事をするべきだ。

（2）根拠・理由

研修中のバッジや腕章を付けていれば、客は担当者を選ぶことで、余計な待ち時間を減らすことができるから／急いでいる客は、その従業員を避けることができるから。

従業員も、研修中でもかまわないという客だけに対応すればいいので、落ち着いて作業できる。

（3）具体例（体験・見聞・知識）

自分が急いでいるときに、従業員のレジ対応に時間が掛かったが、あとで研修中だと分かり腹立たしかった。

（4）反対意見への譲歩と反論

（譲歩）研修中のバッジや腕章を付けると、従業員自身が研修中であることに甘えて自覚が持てない。（反論）

本人自身の自覚の有無の問題であってバッジや腕章のせいではない。本人が従業員としての自覚をもって仕事することが大切。

〈各要素の配列〉

①	↓	②	↓	③	↓	④
①	↓	③	↓	②	↓	④

（例題）スーパーなどで「従業員が『研修中』のバッジや腕章を付けて仕事をする事」は必要か。
あなたの考えを四〇〇字程度で書きなさい。（2020 文章力検定2級より）

【構成メモの例②】∴「反対」の立場の場合

（1）主張

研修中を示すバッジ等を付ける必要はない。やめるべき。

（2）根拠・理由

研修中のバッジを付けることで、従業員自身に研修中なのだから多少の失敗は仕方ない、許されるという考えを生み、ミスをする事に対する緊張が弱くなる。責任感が持てず、客や他の従業員に迷惑を掛けることにつながる。

（3）具体例（体験・見聞・知識）

一緒に働いているアルバイトの従業員が、研修中は失敗してもかまわない期間と誤っているようで、レジなどのミスにしても反省の様子が感じられない。客から研修中の従業員のことで文句を言われたこともある。

（4）反対意見への譲歩と反論

（譲歩）確かに研修中のバッジをつけていることで、客が「研修中なら仕方ない」と考えてくれることで、苦情やトラブルに発展しづらくなるという側面もある。

（反論）

しかし、研修中のバッジはいずれ外さなければならぬ。バッジしていたことでトラブルが未然に防がれる反面、トラブルへの適切な対処法を学ぶ機会が減ることになってしまう。結果としてそうした状況への対処法が身につかず、結局は成長の速度を遅くしてしまうことになる。

（各要素の配列）

③	↓	①	↓	④	↓	②
③	↓	①	↓	②	↓	④

【構成メモをもとにした文章例① 賛成】

研修中の従業員は、研修中であることが分かるようにバッジや腕章を付けて仕事をすべきだ。
なぜなら、研修中のバッジや腕章を付けていれば、客は担当者を選ぶことで、余計な待ち時間を減らせるからだ。

以前、急いでいるときに従業員のレジ対応に時間が掛かったことがある。しばらくして、その従業員が研修中だと分かった。事前に分かっていたら、他のレジを利用出来たので、釈然としなかった。

研修中だと分かれば、急いでいる客は、その従業員を避けることができる。さらに、従業員も、研修中でもかまわないという客に対応するので、落ち着いて作業ができるだろう。

もちろん、研修中のバッジや腕章を付けると、従業員に研修中だから仕方ないという甘えが生じ、責任感が持てなくなるといふ可能性もあるだろう。しかしそれは、本人の自覚の問題であって、バッジや腕章のせいではない。本人が従業員としての自覚をもって働くことが大切であり、店側も従業員が自覚を持って働けるよう指導をするべきである。（420字）

【構成メモをもとにした文章例② 反対】

私が働いているアルバイト先では、三か月間は「研修中」のバッジを付けることになっている。一緒に働いているアルバイトの従業員が、研修中は失敗してもかまわない期間と想っているようで、レジなどでミスにしても、反省の様子が感じられない。客からも、研修中の従業員のことで、私が文句を言われたこともある。

こうした経験から、私は研修中を示すバッジ等を付ける必要はないと考える。

なぜなら、研修中のバッジを付けることで、本人に「研修中だから多少の失敗は許される」という考えを持たせることになるからだ。そうした考えが客や他の従業員に迷惑を掛けることにつながるのである。

確かにバッジをつけることで、客が「研修中なら仕方ない」と考え、苦情やトラブルに発展しづらくなるという側面もある。しかし、同時にトラブルへの適切な対処法を学ぶ機会が減ることにもなってしまう。結果として、成長の速度が遅くなり、本人にも店にとっても損である。だから研修中を示すバッジ等は不要だと考える。（421字）

現代の国語⑧ 「社会に対する意見文を書く」② 構成メモ

「フェアな競争」におけるリバタリアンの主張に対するあなたの考えを四〇〇字〜六〇〇字で書きなさい。

- ・この世にあるすべての有用な資源は「フェアな競争」によって争奪されるべきもの
- ・利益を得るための費用は受益者が負担するべきである
- ・価値あるものを無償で手に入れることはできない
- ・努力せず「社会的共通資本」が分配されるのはアンフェアである

(1) 主張（賛否を主張する）

全面的に賛成／共感できる

概ね賛成／共感（条件付きで賛成・基本的には賛成・ある程度賛成・部分的に賛成）

概ね反対／共感できない（条件付きで反対・基本的には反対・ある程度反対・部分的に反対）
全面的に反対／全く共感できない

(2) 根拠・理由（どのような点で賛成／反対か）

(3) 具体例（体験・見聞・知識）

(4) 反対意見への譲歩と反論

（譲歩）

（反論）

〈各要素の配列〉

●「フェアな競争」における「リバタリアン」の主張に対するあなたの考えを四〇〇字〜六〇〇字で書きなさい。文章は四段落構成で書くこと。また、記述する際は別紙採点基準も参考にすること。

A blank sheet of graph paper with a grid pattern. The grid consists of small squares. A vertical line runs down the center, dividing the page into two equal halves. On the left side, there are three labels: "540" at the top, "400" in the middle, and "20 x 30" at the bottom.

意見文 相互採点 評価観点表

- ・文章表現の基本事項 教科書 P 242 ～ 243
- ・原稿用紙の使い方 便覧 P 496 ～ 497 も参照すること

	項目	A (10点)	B (5点)	C (0点)	採点	直し
文体・表現に関する評価	文体が統一されているか	常体(だ・である)と敬体(です・ます)が混ざっていない	1か所混ざっている	2か所以上混ざっている		
	一文の長さが適切か	一文の長さがすべて4行(80字)以内に収まっている	一文の長さが4行(80字)を超える部分が1か所ある	一文の長さが4行(80字)を超える部分が2か所以上ある		
	誤字・脱字・話し言葉・文のねじれ等がないか	1つもない	1～2か所ある	3か所以上ある		
	原稿用紙の使い方が適切か。	不適切な部分がない	1か所不適切	2か所以上不適切		
内容に関する評価	字数制限に合った文章量で記述されているか	540字以上に達している	400字以上に達している	400字に達していない または字数オーバーになっている		
	4要素4段落で文章が構成されているか	4要素4段落の構成で書かれている	4段落だが要素ごとにまとまっていない	4段落構成になっていない		
	設問に対する自分の意見が明示されているか。	設問に対する意見が明示されている	設問に対する意見が書かれているが不明瞭	設問に対する意見が示されていない		
	意見に納得できる理由が説明されているか。	意見に納得できる理由が書かれている	理由が書かれているが、意見の根拠として不十分	理由が書かれていない		
	主張に関連する具体例(体験/見聞/知識)が述べられているか	主張に関連する具体例が述べられている	具体例が述べられているが、関連性が不十分	具体例が述べられていない		
	反対の意見とそれを否定する反論が述べられている	反対の立場の意見とそれを否定する反論が述べられている	反対の立場の意見またはそれを否定する反論として不十分	反対の立場の意見とそれを否定する反論のどちらかが書かれていない		
コメント				文体・表現に関する評価の小計		
				内容に関する評価の小計		
				合計得点		

評価観点の補足 各観点の具体例

《話し言葉》

くしちゃった けど つぼい すごく とつても じゃなくて 見てる 見れる
自分的には (文頭) なので しってるんだな

《文のねじれ》

私の趣味は、本を読みます。

なぜならストレスを発散します。

★一文が長くなると文のねじれが発生しやすい。

《意見文の四つの要素》

- ① 意見・主張 (私は〜と考える)
- ② 理由・根拠 (なぜなら〜からだ)
- ③ 具体例 (体験・見分・知識) (例えば〜)
- ④ 譲歩と反論 (もちろん／確かに〜。しかし…)

《文字数》

四〇〇字↓原稿用紙の二〇行目の最後のマスに達している。

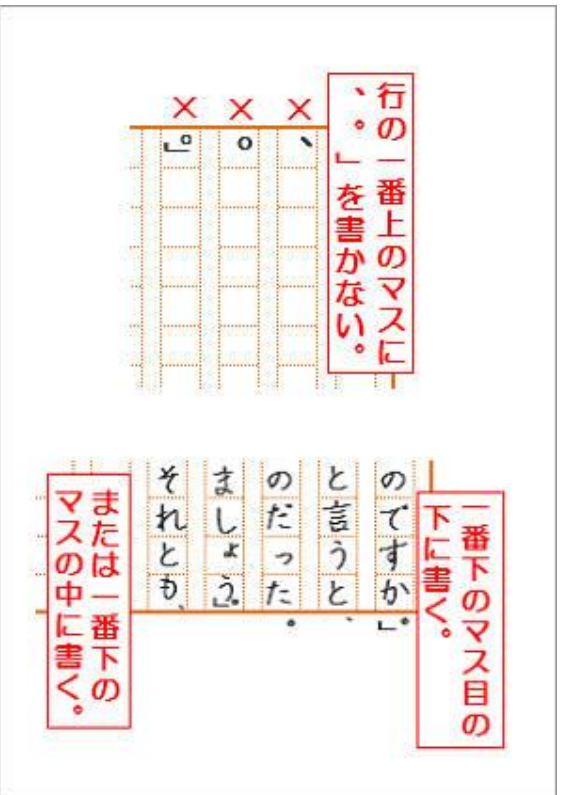
五四〇字↓原稿用紙の二七行目の最後のマスに達している。

《原稿用紙の使い方》

段落の初めは一文字分あける。

句読点が行の先頭にくる場合は前の行の最後のマスに文字と一緒に書く

縦書きの場合数字は漢数字で書く



【書き直し用原稿用紙】

●「フェアな競争」における「リバタリアン」の主張に対するあなたの考えを四〇〇字〜六〇〇字で書きなさい。文章は四段落構成で書くこと。また、記述する際は別紙採点基準も参考にすること。

[illegible]